



美瑛町そだちの教室通信
5月号
2020年4月22日



通級説明会 ありがとうございました！

今年の通級説明会は、新型コロナウイルス感染予防対策として1年生通級児の保護者に限定してのご案内となりましたが、4月8日の通級説明会にはお忙しい中ご出席いただき、どうもありがとうございました。通級での自立活動を通して「メタ認知をして助け合える子どもの育成」を目指し、子どもたちの「やってみたら、できた！」の瞬間を共有していきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

「通級」が再びお休みになります

13日から2年生以上の通級を開始しました。そだちの教室の扉を開けるなり、待ち遠しかったという気持ちを体全体で表現してくれ、新年度のスタートラインに立てたことに喜びを感じていた矢先の臨時休校となりました。とても残念です。

現段階では、学校の再開と同時に通級も再開する予定です。連休明けとなりますので、1年生の通級もスタートします。

個別の支援計画・指導計画をたてます

すでにご連絡していたとおり、休校に伴い面談は一時中止とさせていただいております。今後日程の変更をお願いしなければならない方々には、たいへん申し訳ありません。

保護者の方々と子どもの現在の様子、得意なこと、気になることなどを共有し、今年度の支援・指導の目標や内容を決めます。学校の再開にあわせて、面談の時間を調整させていただいておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

5月 さんの通級予定 日程表※色のついている日が通級日です。

月	火	水	木	金
				1
4 みどりの日	5 こどもの日	6 振替休日	7 集団下校訓練 (東小) 5校時	8
11	12 家庭訪問 午 前授業 (東小)	13 家庭訪問 午前 授業 (東小)	14 家庭訪問 午前 授業 (東小)	15 避難訓練(東小) 2校時
18 家庭訪問 午 前授業 (東 小)	19	20	21	22
25 運動会日課開 始 (東小)	26	27	28 運動会全体練習 (東小)	29

「そだちの教室ってどんなことするの？」②

…こんな様子はありませんか？

「読み」つまずきの指導について…

「読み」のつまずきには

1 一文字一文字を読む際のつまずき。

- ひらがなやカタカナなどの文字を読むことが難しい。
- 習った漢字が読めない。
- 形の似た文字を読み間違える。(例：「き」と「さ」, 「人」と「入」を読み間違える)

2 単語を読む際のつまずき

- 促音や拗音などの特殊音節を読み間違える。(例：「がっこう」を「がこう」, 「せんしゅう」を「せんしょう」と間違える。
- 文字を抜かしたり, 順序を読み間違えたりする。(例「かわいい」を「わかい」と読む)

3 文章を読む(音読)際のつまずき

- 逐次読みである。(例：「きょ…う…は…がっ…こう…へ…」
- 文字の語句や行を抜かしたり, または繰り返したりして読む。
- 音読が遅い。
- 語尾を間違えて読むことがある。(例：「行きました」を「行った」と読む)

4 読解の際のつまずき

- 音読はできても, 内容を理解していないことがある。
- 文章の要点を正しく読むとることが難しい。

があります。

教室や家庭の様子で「どうも読み方にたどたどしさがあるようだ…」と感じても, それが一括どんなつまずきなのかを把握するには, 少しコツが必要です。しかし, だからといって, 「まだ学習が始まったばかりだから少し様子を見てみよう…」と考えるのも危険です。早い段階で子どもたちが必要とする支援のニーズを把握し, 速やかに, かつ根拠に基づいた指導・支援を行うことが, 二次的なつまずき(モチベーションや自己評価の過剰な低下等)を生み出す危険性を防ぐことにもつながるからです。

すらすらと音読すること, つまり, 流ちょうに(正確にリズム良く・適切な調子で)読むことは, 内容を理解するためにも大変重要な活動です。それとは反対に, 文章の中に出てくる単語や言い回しを理解しているからこそ, 流ちょうに音読もできることになります。

「読み」の重要性は, 国語科の学習に限らず, すべての学習活動につながる土台になります。次回の通信「color」では, 「読み」の指導の中でも, そだちの教室に通級している子どもたちに大変人気のある MIM (多層指導モデル) について紹介していきたいと思います。



通級の指導内容を毎回連絡ファイル(A5サイズ)でお知らせします。(通級の際は, 昨年度のものをそのまま持たせてください) それをもとにご家庭でもできそうなことに取り組んでみてください。保護者の方のサポートと気づきが大切です。面談の際には, 一緒にその子に合った方法を考えていきましょう。